

教化センターだより

No. 417

発行日 2022年3月1日
発行 真宗大谷派大阪教区
教化センター
TEL 06-6251-0745
FAX 06-4708-3278

◆御堂文庫蔵書紹介◆



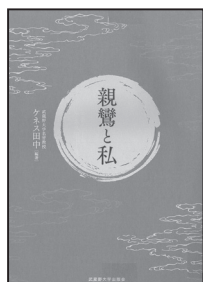
〈発行〉法蔵館

『改訂 歴史のなかに見る親鸞』

〔著者〕平 雅行

慈円への入室、六角堂参籠、玉日姫との婚姻説、善鸞義絶事件——。親鸞の伝記研究を進めるうえで、障害となるのは史料の乏しさにある。

数少ない確実な史料を緻密に検証することで、歴史研究者として親鸞の事蹟の真偽を究明する一方、民衆の苦難と自らの思想信条とのはざままで悩み苦しむ親鸞の姿をも描き出す。
(裏表紙より引用)



〈発行〉武蔵野大学出版会

『親鸞と私』

〔編者〕ケネス 田中

本書は、「親鸞と私」というテーマで、それぞれの親鸞への思いを、武蔵野大学の生涯学習講座において語り、それをまとめたものです。

今日、仏教学者の間では「長老格」という立場に置かれるようになった私たちですが、我々が抱く親鸞への魅力は衰えるどころか、更に増しているように思えます。(はじめにより引用)



〈発行〉リベラル社

『人生を照らす 親鸞の言葉』

〔監修〕真宗大谷派 名古屋別院

私たちと同じように、欲が絶えず、日々悩みながら生きてきました。そんな親鸞だったからこそ、現代を生きる私たちの心に届く言葉があります。

本書では、人間の本性を厳しく見据えた親鸞の言葉を80選出しました。心に迷いや不安が生じた時、そっと寄りそってあなたの力になってくれますように。(はじめにより引用)

— 教化リーフレットの

「活用」について —

— 4枚の「教化リーフレット」は、各寺院・教会において「寺報」や個別に複写しての配布、同朋会や聞法会での教材としての活用いただければ幸いです。

— 4月のリーフレット —

リーフレット①

「掲示板のごとは」…教化センター

「その知ったかぶりが大変じゃない?」

「分かったつもりで疲れます…」

リーフレット②

「今月のじゆん」……成井暁信

「還来生死輪転家
決以疑情為所止」

リーフレット③

「もしもし相談」……建部智宏

「ペットの供養を
してやりたいが…」

リーフレット④

「仏典マンガ・仏さまのおしえ」

『ヴァンギーサの最後の歌』

(敬称略)

まん か まん
慢 過 慢

その知ったかぶり

大変じゃない？

分かったふりって

疲れます…

【慢過慢】とは、自分より優れている者に対して、自分是对等以上だと誇示しようとする煩惱である。

私たちの身近な現象で例えると「知ったかぶり」である。会話の中で、相手の方が事情に良く精通している時、「自分も知っている」「自分はもっと知っている」などと誇示してしまう煩惱だ。

相手に気持ちよく話してもらうために、話を合わせる程度の「知ったかぶり」なら、まだ可愛いのかも知れない。しかし相手が自分より理解が深かったり、話の主軸が自分ではないことなどが気に入らないために、無理矢理話に割って入ってしまうと、相手は話の腰を折られたような不快感を

感じてしまうだろう。無理やり発した言葉には、ウソや憶測が多くなるので、それを聞かなければならない相手も、取り繕う自分も疲れてしまう。

聞法することを通してようやく、知ったかぶりする恥ずかしい自分に気づかされるのだが、それでも懲りずに私は知ったかぶりを繰り返し、相手を困らせている。自分を過大に誇示しないと身がもたない生き方をしているのかもしれない。だからこそ繰り返し聞法することが大切なのだろう。

そうした「まるはだか」の自分があぶり出されるところに真宗聞法の素晴らしさがある。それだけは知ったかぶりしたくないと改めて思った。

(教化センター)

還来生死輪転家
決以疑情為所止

生死輪転しじゆんてんの家に還来かえることは、決するに疑情ぎじやうをもって所止とす。

五十代から発症率が高くなり、環境の変化や疲労、ストレスなどが原因となり発症する帯状疱疹（ヘルペス）という病気があります。昨年の四月、私はこの条件にすべて当てはまってしまい発症してしまいました。まさか自分が発症するとは思ってもみませんでした。息ができませんでした。息があり、こんなに苦しいとは想像もつきませんでした。

とで疲労やストレスが溜まっていて感ずてはいませんでした。日ごろストレスや運動をしてるので、体力には自信を持っていましたし、自分の経験や知識を信用していました。家族や身近な人の「身体に気をつけてや」、「少し休みや」との声を聞こうとせず、自分の考えを重視していたのです。ところがひとたび病気になってしまつと、日ごろの自信が揺らいでしまいました。そんな日ごろの自分の思いに振り回され、大切な事を見失って生きている。それが迷っているということなのでしよう。しかも私たちは欲望

煩惱ぼんのう（自分の思い）に振り回されていることにも気づかず、迷ったままそれが当然のことのように生きています。だからさらに次々と迷いを重ね苦悩しているのです。そのことを「生死輪転」といいます。「還来」とは「還り来る」ということで、もとの所に戻るという意味です。親鸞しんらん聖人は「かえる」と読んでおられます。身の事実を忘れて自分の思いに立って生きている私たちは、いつでも、いつまでも生死輪転の家に帰ってしまうのです。

心」に止まっているからだと教えられています。なぜ疑う心が生ずるのか、それは仏の教えに出会っても、自分中心の考えを重視しているからです。「ほんとうにそれでいいのんか」という仏の声（呼びかけ）を聞こうとせず、自分の知識や経験をたよりに生きているのです。人間って、私って、やっかいですね。「迷いの世界に輪転することは、本願を疑うからである」これはまさしく私のことなのです。

（成井 暁信）

今月のことば出典『正信偈』

『真宗聖典』

207頁

『真宗大谷派 勤行集』（赤本）

31頁

もしもし相談



ペットの供養を
してやりたいが…

問

先日わが子のよ
うにかわいがって
いた愛犬が亡くなりました。
お付き合いのあるお寺にお葬
式をお願いしたところ、断ら
れてしまいました。結局ペッ
ト霊園で呼んでもらったお坊
さんをお願いしました。今後
自宅の仏壇でも供養してやり
たいのですが、どうしたら良
いでしょうか。(67歳・男性)

答

愛犬とのお別
れ、本当にお寂
しいことです。
同じように愛犬と別れた
経験を持つものとして、
お悲しみお察し申し上げ
ます。

さて、家族同然として
共に過ごされてきた愛犬
とのお別れに、お葬式を
してあげたいと願われる
のは真に尊いことです。

改めて考えてみますと、
ペットとは一体何なのでし
ょう。私たちが心に留めて
おかなければならないの
は、動物と人間が一緒にい
る時、とすれば「人間の
都合」が最優先されると
いうことがあるのではな
いでしょうか。常に主導権
を握る私たち人間の傍ら
で生きる立場であるにも
かかわらず、私たちに数え
きれないほどたくさんの
贈り物をしてしてくれてい
るよりに思えてなりません。
悲しみ苦しみに暮れる
ときには、何も語ることもな
くそっと寄り添いその温

かさで励ましてくれます。
また、何よりも、その生涯
のすべてをそのまま受け
とめ、生かされるままに
今を生き、最後には共に
過ごした者たちに、手を
合わさずにはいられない
ような心呼び覚まして
くれるのです。お葬式を
あげてほしいと願う心も、
愛おしい存在が最後にく
れる尊い贈り物と言える
のではないのでしょうか。

まずはお付き合いのあ
るお寺さまに、改めて供養
の方法をご相談され、ご
自身のご希望やお気持ち
をよくお話されるのがよ
ろしいかと思えます。そ
の上で、亡くなられたペッ
トを偲ぶ場を設け、仏さ
まに手を合わせ生活をさ
れてはいかがでしょうか。

それは、こちらからし
てあげる供養というより
は、むしろ私たちが愛お
しい存在から教えられ導
かれる者として、仏前に
身を据える尊いご縁をい
ただいてるのでしょう。
そこには、身をもって教
えてくれているいのちの
厳粛さを前に、この私が
「はかり知れないのちの
はたらき」に出会う時と
場があります。

今までいただいできた
ものの大きさと、共に同
じいのちのはたらきに生
かされていた関係であっ
たことを自分自身に確か
め続けていく、その大切
さを亡くなった愛犬が改
めて教えてくれているよ
うに思います。

(建部 智宏)



仏典マンガ・仏さまのおしえ



絵：小川ゆきえ〈201〉

ヴァンギーサの 最後の歌



しかし重病になり
死に怯えていました



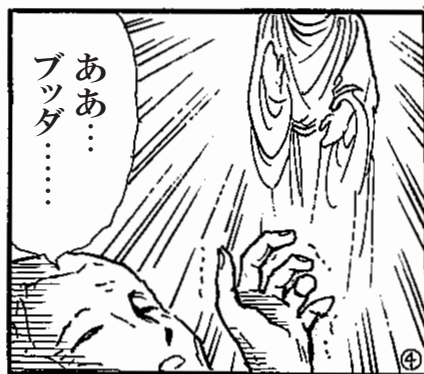
仏法を讃えた
数多くの歌を
作りました

もと吟遊詩人の
ヴァンギーサは

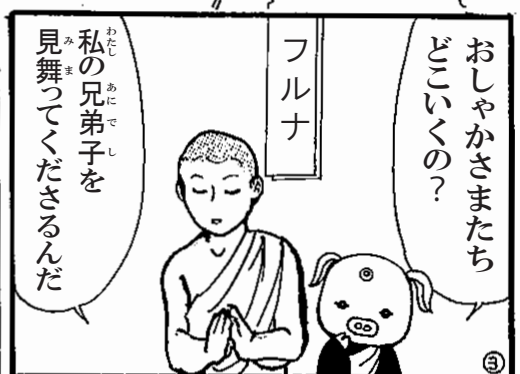


ヴァンギーサ
汝は間もなく
涅槃に入るだろう

心は
安らかか？



ああ…
ブツダ…



おしゃかさまたち
どこいくの？

フルナ

私の兄弟子を
見舞ってくださいるんだ



如来の慈悲に
遇った今
心に巣くう
疑念消え



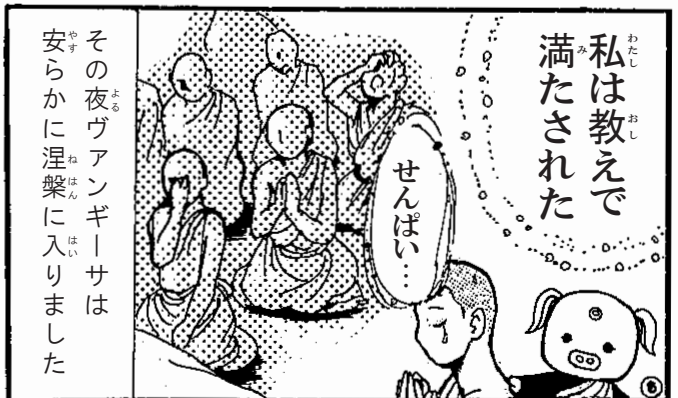
今はただ
涅槃を待つ
喜びに
あふれています

世尊よ
あなたと多くの友に
看取られ
私の心はとも
安らかです



多くの人に
仏法を
伝えました

ヴァンギーサの歌は
現代まで歌い紡がれ



私は教えで
満たされた

せんばい

その夜ヴァンギーサは
安らかに涅槃に入りました

参考仏典：『仏教説話大系3』

仏典や仏教童話などを参考・題材にして教化センターが創作したお話です。